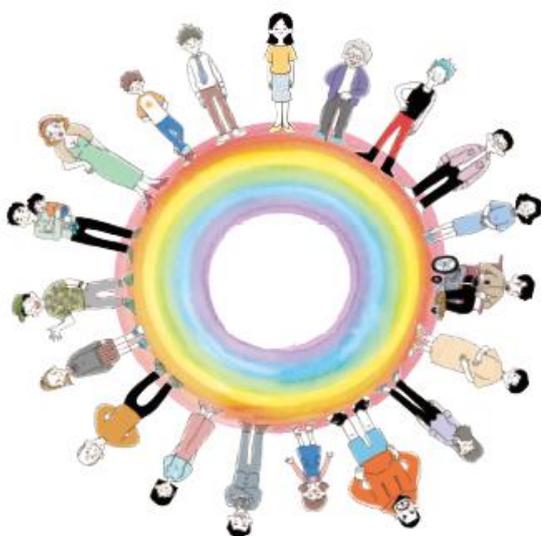


国立市 多様な性と人権に関する市民意識調査

令和元（2019）年8月

一人ひとりが 性別にかかわらず 自分らしく



ページ数 19 ページ / 所要時間 15～25 分

回答期限 令和元（2019）年 8月26日(月) まで

調査に関するお問い合わせ先

国立市 政策経営部 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

〒186-8501 国立市富士見台2-47-1

Tel.042-576-2111（内256） 午前8時30分～午後5時15分

コメントの追加 [p1]: 実際は20～30分程度かかりそう。
次回は10～20分程度におさめたい。
簡略化のため枝間を減らしたい。
(前回36問(枝間含む)と50問)→次回25問以内か)

コメントの追加 [p2]: 前回の調査期間は約3週間。
〆切後の回答も可能な範囲で反映。
今回も同程度の期間を想定。

国立市では、平成31（2019）年月に「国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例」を制定し、“すべての人を社会的孤立や排除から守り、社会の一員として包み支え合い共に生きる”というソーシャル・インクルージョンを理念としたまちづくりを推進しております。

この調査は、市が策定した「国立市第5次男女平等・男女共同参画推進計画（計画期間：平成28（2016）年度～令和5（2023）年度）」に基づき、計画の中間年度に実態調査と評価を行うためのものです。今回の調査は、皆様のご意見を市政に反映していくための大切な調査です。

調査の実施にあたっては、国立市にお住まいで18歳以上の男女3,000人を無作為に選ばせていただいております。回答は無記名でお願いします。結果はすべて統計的に処理いたしますので、個人が特定されることはありません。

お答えになりにくい質問もあるかと思いますが、市民の皆様お一人おひとりの状況をできるだけ正確に市政に反映するために、ぜひご協力くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

令和元年8月 国立市

コメントの追加 [p3]: 調査目的や活用方法を分かりやすく記載したい。
調査タイトルも要検討。

●●● ご記入にあたってのお願い ●●●

- ① 封筒の宛名のご本人様をご記入ください。回答は無記名でお願いをいたします。
- ② 黒の鉛筆又は黒ボールペンでご記入ください。
- ③ 回答は、あてはまる番号などを○で囲んでください。質問によって○をつける数を「1つ」「いくつでも」など指定しておりますので、その範囲内でお答えください。
- ④ 「その他」にあてはまる場合は、〔 〕内に具体的にご記入ください。
- ⑤ 記入が終わりましたら、同封の返信用封筒（**切手は必要ありません**）に入れて、**8月26日（月）**までにご投函ください。特に理由がない限り、記入漏れがないようにご協力ください。返信用封筒に記名の必要はありません。

女性と男性の平等についてのお考えをおたずねします

問1 あなたは現在、次のような分野で女性と男性の地位は平等になっていると思いますか。それぞれについて、1～6のうちあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	常に男性の方が優遇されている	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等になっている	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない
ア. 家庭生活（家事・育児・介護）	1	2	3	4	5	6	
イ. 職場	1	2	3	4	5	6	
ウ. 学校教育の場	1	2	3	4	5	6	
エ. 地域社会	1	2	3	4	5	6	
オ. 政治の場	1	2	3	4	5	6	
カ. 法律・制度	1	2	3	4	5	6	
キ. 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5	6	
ク. 社会全体	1	2	3	4	5	6	

コメントの追加 [p4]: 【継続予定】

東京都・他市でも同様の設問が多く、地域差比較に使用しやすい。

問2 次のことについて、1～5のうち、あなたの考えにもっとも近いものの番号に1つずつ○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	わからない
ア. 男は男らしく、女は女らしくあるべきだ	1	2	3	4	5	
イ. 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきだ	1	2	3	4	5	
ウ. 男女が一緒に暮らすのであれば結婚すべきだ	1	2	3	4	5	
エ. 夫婦は別姓（名字を別にする）を選択できるべきだ	1	2	3	4	5	
オ. 同性カップル（女性同士・男性同士のカップル）の法的な結婚を認めるべきだ	1	2	3	4	5	

コメントの追加 [p5]: 【継続予定】

他市でも同様の設問が多く、地域差比較に使用しやすい。

問3 女性が仕事をする事について、どのようにお考えですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 女性は家事・育児に専念し、仕事をもたない方がよい

2. 結婚するまでは仕事をして、結婚後は家事に専念した方がよい

3. 妊娠・出産するまでは仕事をして、妊娠・出産後は家事・育児に専念した方がよい

4. 結婚や妊娠・出産に関わらず、それまでと同じ働き方でずっと仕事をもつ方がよい

5. 妊娠・出産後は、家事・育児と仕事のバランスを取りながら仕事をもつ方がよい

6. 妊娠・出産後は仕事をやめ、子どもが大きくなったら再び仕事をもつ方がよい

7. その他 [具体的に: _____]

8. わからない

コメントの追加 [p6]: 【必要性要検討】

同様の設問でも市ごとに選択肢が多少異なり、比較しにくい。

問2. イ. で概ねくられるか。

教育、子育てについておたずねします

問4 女性と男性及び多様な性の平等のため、あなたは学校教育の場では特にどのようなことが必要だと思いますか。必要だと思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 女性と男性と多様な性の平等の意識を育てる授業を行う
2. 出席簿や名簿、座席、整列、服装など性別によって分ける慣習をなくす
3. 教職員、管理職（校長・副校長）に向けた研修を行う
4. 人権尊重の立場に立った性教育を充実させる
5. DVやデートDV、セクシュアル・ハラスメントに関する相談機能を充実させる
6. 管理職（校長・副校長）に女性を増やしていく
7. 文系・理系を問わず希望する進学先に進むための支援を行う
8. その他〔具体的に： 〕
9. わからない

コメントの追加 [p7]: 【必要性要検討】
調査結果を施策にどう活かせるか。

問5 あなたは子育てに関し何を不安に感じますか。不安だと考えるものを3つまで選び、○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|-------------------------------|
| 1. 親の経済的負担（教育費等）が大きい | 7. 子育てと仕事を両立させることは、仕事に支障をきたす |
| 2. 親の精神的・肉体的負担が大きい | 8. 地域で子育てを支援する体制がない |
| 3. 保育所等の子育てを支援する制度が整っていない | 9. 職場において育児・介護休業等の支援環境が整っていない |
| 4. 自分の時間を確保できない | 10. その他〔具体的に： 〕 |
| 5. 子育ての負担が母親又は父親に偏っている | 11. わからない |
| 6. 子どもの育つ将来の社会に不安がある | |

コメントの追加 [p8]: 【必要性要検討】
子育ての予定がある人への限定的な設問となっているか。

あなたの家庭や暮らしについておたずねします

問6 あなたのふだんの生活時間についておたずねします。

平日の1日、あなたが次のようなことに費やす時間は平均してどのくらいですか。それぞれについて、数値でお答えください。（ない場合は「0」（ゼロ）とご記入ください）

ア. 家事・育児に費やす時間	〔 時間 分 〕
イ. 介護に費やす時間	〔 時間 分 〕
ウ. 仕事（*1）・学業に費やす時間	〔 時間 分 〕
エ. 通勤・通学に費やす時間（往復）	〔 時間 分 〕
オ. 社会活動（*2）に費やす時間	〔 時間 分 〕
カ. 趣味・習い事に費やす時間	〔 時間 分 〕
キ. 休憩や気晴らし（睡眠時間を含む）	〔 時間 分 〕

コメントの追加 [p9]: 【必要性要検討】
「仕事・学業に費やす時間」は計画の指標に用いている。
調査結果を施策にどう活かせるか。
参考値は他市調査で把握可能か。

*1 ここでは収入を得る仕事をさします。上司や同僚とのつきあいの時間も含めてお答えください。

*2 ボランティアや地域活動等をさします。移動時間も含めてお答えください。

*3 合計が24時間とならなくてもかまいません。24時間以内でおおよその時間をお答えください。

結婚している方におたずねします（事実婚（*）の方もお答えください）

問7 家庭生活での、夫婦の（またはパートナーとの）役割分担はどのようになさっていますか。それぞれについて、1～6のうちあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	主に自分が行う	どちらかといえ 自分が行う	自分とパートナ と同程度で行う	どちらかといえ パートナーが行う	主にパートナ が行う	該当しない・わ から
ア. 炊事・洗濯・掃除・買い物などの家事	1	2	3	4	5	6
イ. 育児（乳幼児の世話）や子どもの教育、しつけ	1	2	3	4	5	6
ウ. 家計の管理	1	2	3	4	5	6
エ. 親や家族の介護、看護	1	2	3	4	5	6
オ. 子どもが通う保育所・学校等の行事への参加	1	2	3	4	5	6
カ. 町会・自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6

* 事実婚…婚姻届は出していないが、パートナーと共同生活をしていること

コメントの追加 [p10]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

参考値は他市調査で把握可能か。

結婚している方におたずねします（事実婚の方もお答えください）

問8 家庭生活での、夫婦の（またはパートナーとの）役割分担はどのように分担することが望ましいと考えますか。それぞれについて、1～6のうちあてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	主に自分が行う	どちらかといえ 自分が行う	自分とパートナ と同程度で行う	どちらかといえ パートナーが行う	主にパートナ が行う	該当しない・わ から
ア. 炊事・洗濯・掃除・買い物などの家事	1	2	3	4	5	6
イ. 育児（乳幼児の世話）や子どもの教育、しつけ	1	2	3	4	5	6
ウ. 家計の管理	1	2	3	4	5	6
エ. 親や家族の介護、看護	1	2	3	4	5	6
オ. 子どもが通う保育所・学校等の行事への参加	1	2	3	4	5	6
カ. 町会・自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6

コメントの追加 [p11]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

参考値は他市調査で把握可能か。

問9 育児休業・介護休業は男女とも取得できることが法律で認められています。育児休業・介護休業の取得の実態をおたずねします。
あなたは育児休業を取得したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 取得したことがある(取得中も含む) → 問9-1、問9-2へ	2. 取得条件を満たしているが、取得したことがない → 問9-3へ	3. 取得条件に該当しない	4. 出産時に退職したため取得していない	5. 制度を知らない
--------------------------------------	--------------------------------------	---------------	----------------------	------------

コメントの追加 [p12]: 【必要性要検討】

男性の取得率は計画の指標としている。
過去全体での取得経験等をたずねているため、現状の実態は分からない。

取得したことがある方(問9で1と回答した方)におたずねします

問9-1 育児休業の取得期間の長さを教えてください。あてはまる番号1つに○をつけてください。複数回取得したことがある方は、取得した中で最長の期間に○をつけてください。

1. 1日以上1週間未満	4. 1ヶ月以上3ヶ月未満	7. 1年以上2年未満
2. 1週間以上2週間未満	5. 3ヶ月以上6ヶ月未満	8. 2年以上
3. 1ヶ月未満	6. 6ヶ月以上1年未満	9. その他 []

コメントの追加 [p13]: 【必要性要検討】

過去全体での取得経験等をたずねているため、現状の実態は分からない。

取得したことがある方(問9で1と回答した方)におたずねします

問9-2 育児休業を取得したなかであなたが不満に感じたことはありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 取得日数が希望通りではなかった	5. 収入が下がった
2. 取得のタイミングが希望通りではなかった	6. 復職後のキャリア形成に影響が出た
3. 職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だった	7. 交友関係が狭まった
4. 休業中又は復職する際の職場のサポート体制が十分ではなかった	8. その他 [具体的に:]
	9. 不満に感じたことはない

コメントの追加 [p14]: 【必要性要検討】

過去全体での取得経験等をたずねているため、現状の実態は分からない。

取得条件を満たしているが、取得したことがない方(問9で2と回答した方)におたずねします。

問9-3 育児休業を取得しなかった理由は何ですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家庭に育児をしてくれる人が別にいたから	6. 休業中又は復職する際の職場のサポート体制が十分ではないから
2. 自分の仕事内容に支障が出るから	7. 取得する必要性を感じなかったから
3. 自分のキャリア形成(出世や昇進等)に支障が出るから	8. その他 [具体的に:]
4. 取得することで収入が下がるから	9. わからない、覚えていない
5. 職場が育児休業を取得しづらい雰囲気だから	

コメントの追加 [p15]: 【必要性要検討】

過去全体での取得経験等をたずねているため、現状の実態は分からない。

問10 あなたは介護休業（介護のために一定期間休業できる制度）を取得したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 取得したことがある	2. 取得条件を満たしているが、取得し たことがない	3. 取得条件に該当しない	4. 介護が理由で退職したため取得していない	5. 制度を知らない又は知らなかった
--------------	-------------------------------	---------------	------------------------	--------------------

コメントの追加 [p16]: 【必要性要検討】

過去全体での取得経験等をたずねているため、現状の実態は分からない。

問11 これまで、高齢者や病人の介護は、女性に負担が偏りがちでしたが、男性の介護への参加を進めるためには、どのようなことが重要だと思いますか。重要と思うものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 性別を問わず介護を行うという社会意識を醸成する
2. 女性が一方的に介護を担うことがないよう、家族間で介護の分担について話し合う
3. 男性の介護参加のための啓発活動を進める
4. 介護について気軽に相談できるような窓口を整える
5. 日常的に介護者同士が話し合える地域のネットワークづくりを進める
6. 介護サポーターや入所施設等の地域における支援を充実させる
7. 労働時間の短縮、在宅勤務、フレックスタイムの導入、介護休暇取得など就業環境を整える
8. その他 [具体的に:]
9. わからない

コメントの追加 [p17]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

参考値は他市調査で把握可能か。

あなたの仕事に関することについておたずねします

問12 あなたは現在、収入を伴う仕事をしていますか。出産や育児・介護のために休んでいる場合（育児・介護休業）は働いているとお答えください。ただし、学生で学費や生活費のためにアルバイトをしている場合は「3」、それ以外（お小遣いや趣味など）のためにアルバイトをしている場合は「5」です。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------------|----------|
| 1. 自由業・自営業・家族従業員として働いている | |
| 2. 正社員として雇用されている | ⇒ 問12-1 |
| 3. 契約社員・派遣・パート・アルバイト等として雇用されている | |
| 4. その他（具体的に:) | |
| 5. 仕事をもっていない（主夫・主婦・その他） | ⇒ 問12-2へ |

コメントの追加 [p18]: 【必要性要検討】

問12-1のクロス分析に用いられている。

収入を伴う仕事をされている方（問12で1～4と回答した方）におたずねします

問12-1 あなたの職場では、仕事の内容や待遇面で次のようなことがありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 性別により募集や採用に違いがある
2. 性別により賃金、昇給や昇進、昇格に違いがある
3. 育児・介護休業の取得は難しい雰囲気がある
4. 長時間労働、サービス残業、休日出勤が頻繁にある
5. 女性の能力・業績が正しく評価されない
6. 補助的業務への配置は主に女性である
7. 女性は結婚や出産を機に、退職しなければならないような雰囲気がある
8. 女性は研修（教育・訓練）を受ける機会が少ない
9. セクシュアル・ハラスメントが放置され、被害者に適切な対応がない
10. その他 〔具体的に： 〕
11. 特にない

コメントの追加 [p19]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

参考値は他市調査で把握可能か。

仕事をもっていない方（問12で5と回答した方）におたずねします

問12-2 あなたは、これから働きたいと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|-----------|
| 1. 働きたい | 3. 働きたくない |
| 2. 一定の負担、特定の条件の中で働きたい | 4. わからない |

→ 問12-3へ

コメントの追加 [p20]: 【必要性要検討】

問12-2で働きたいと回答した方（1または2と回答した方）におたずねします

問12-3 あなたが働く上で現在困っていることはどのようなことですか。主なものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 希望する職業の募集や採用が少ないこと
2. 就職先の条件（年齢、待遇など）や仕事の内容が合わないこと
3. 働くにあたって家族の理解・協力が得られないこと
4. 介護・看護の必要な家族がいること
5. 適切な保育所・託児施設が見つからないこと
6. 仕事を始めるにあたって資金などの条件が不足していること
7. 自分の健康や体力に自信がないこと
8. 自分の能力や就職のための技能を磨くことができないこと
9. 就職に関する相談先が分からないこと
10. その他 〔具体的に： 〕
11. 特にない

コメントの追加 [p21]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

参考値は他市調査で把握可能か。

人権をおびやかす行為についておたずねします

問15 年齢、性別、性自認(*1)、性的指向(*2)、しょうがいの有無、国籍、民族、宗教、部落出身などを理由にしたあらゆる差別は、基本的人権の侵害であり、是正されるべきだと思いますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. もっともだと思う	2. そうは思わない	3. どちらとも言えない
-------------	------------	--------------

- *1 性自認…自分の性に対する自己認識（自分が男性又は女性であるか、中間であるか等）。
*2 性的指向…人の恋愛や性的関心がどのような性を対象とするか（異性愛、同性愛、両性愛等）。

問16 あなたは、今までにパートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力を受けた（と感じる）ことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. パートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力を受けたことがある → 問16-1、問16-2、問16-3へ	2. パートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力を受けたことがない
--	------------------------------------

問16で1（パートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力を受けたことがある）と回答した方におたずねします

問16-1 あなたはパートナー（配偶者や交際相手など）から次のような行為をされたことがありますか。ア～オの項目について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	あ 何 つ た も	あ 1、 2 つ た 度	な ま い つ た く
ア. 身体的暴力（殴られる、蹴られる、物を投げられる、突き飛ばされる、首を絞められる、タバコを押し付けられる、など）	1	2	3
イ. 精神的暴力（大声で怒鳴られる、無視される、日常的に罵る・蔑む言葉と言われる、脅迫される、身体的な暴力を振るうそぶりをされる、「誰のおかげで生活できるのか」などと言われる、など）	1	2	3
ウ. 性的暴力（性的行為を強要される、ポルノビデオ・アダルトサイトを見せられる・避妊に協力をしてもらえない・中絶を強要されるなど）	1	2	3
エ. 経済的暴力（生活費を渡されない、生活費を過度に要求される、貯金を勝手に使われる、無理な仕事をさせられる、外で働き収入を得ることを妨害される、など）	1	2	3
オ. 社会的暴力（交友関係や行き先、電話・郵便物・メールの内容を細かく監視される、外出や親族・友人との付き合いを制限される、など）	1	2	3

コメントの追加 [p24]: 【必要性要検討】

計画の指標に用いている。
様々な属性に対する差別をひとくくりにしており、結果を参考にしづらい。

コメントの追加 [p25]: 【修正検討】

経験の時期が最近なのか昔なのか分からない。

【設問案】

Q. あなたは、今までに配偶者、パートナー、交際相手からの暴力を受けた（と感じる）ことがありますか。それぞれについてあてはまる番号1つに○をつけてください。

ア. 身体的暴力（具体例～）

イ. 精神的暴力（具体例～）

ウ. 性的暴力（具体例～）

エ. 経済的暴力（具体例～）

オ. 社会的暴力（具体例～）

1. ある（3年以内にあった）

2. ある（3年以内にはなかった）

3. 今まで一度もない

コメントの追加 [p26]: 【別の設問に統合】

問16に統合。

問16で1（パートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力を受けたことがある）と回答した方におたずねします

問16-2 パートナー（配偶者や交際相手など）から暴力を受けているときに子どもや他の家族はどうしていますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|-----------------------|--|
| 1. 止めようとして割って入る | 6. 特に何もしない |
| 2. 子どもや家族も暴力を受ける | 7. パートナー（配偶者や交際相手など）と二人きりのとき以外は暴力を受けない |
| 3. 他の場所に逃げる | 8. その他〔具体的に： 〕 |
| 4. 近隣、家族、知人等に助けを求めに行く | |
| 5. 警察や相談機関に連絡する | |

コメントの追加 [p27]: 【必要性要検討】
調査結果を施策にどう活かせるか。

問16で1（パートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力を受けたことがある）と回答した方におたずねします

問16-3 暴力を受けたとき、どなたかに相談をしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | |
|---|--|
| 1. 警察 | 7. 民間相談機関（弁護士・法テラス・民間シェルター・NPO・支援団体など） |
| 2. 国立市の相談窓口 | 8. 医師・看護師・カウンセラー等 |
| 3. 東京都の相談窓口（東京ウィメンズプラザ・東京都女性相談センター・東京都女性相談センター多摩支所） | 9. 家族・親戚 |
| 4. 法務局の人権相談窓口・人権擁護委員の相談 | 10. 友人・知人 |
| 5. 裁判所 | 11. その他〔具体的に： 〕 |
| 6. 民生委員・児童委員 | 12. 相談しなかった（できなかった） |
- ➡ 問16-4へ

コメントの追加 [p28]: 【修正検討】
前回調査で回答が少なかった相談先は、削除・統合

【設問案】

Q. 暴力を受けたことがあると回答した方におたずねします。暴力を受けたとき、どなたかに相談をしましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（「3年以内にあった」、「3年以内になかった」に分けてたずねる）

1. 家族・親戚
2. 友人・知人
3. 民間相談機関（弁護士・医師・NPO等）
4. 行政の相談窓口
5. その他（ ）
6. 誰にも相談しなかった（できなかった）

問16-3で12（相談しなかった（できなかった））と回答した方におたずねします

問16-4 その理由としてあてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 相談する人がいなかったから
2. どこに相談してよいのかわからなかったから
3. 相談しても解決しないと思ったから
4. 相談したことがわかると、自分または子どもや家族に危害が及ぶ・仕返しを受けると思ったから
5. 自分さえ我慢すれば、このままやっていけると思ったから
6. 自分にも悪いところがあると思ったから
7. 自分が受けている行為が暴力だとは認識していなかったから
8. パートナー又は子どもの親を犯罪者にしたくないから
9. その他〔具体的に： 〕

コメントの追加 [p29]: 【必要性要検討】

前回調査では対象者が37名で分析がしづらい。全体に対して、相談先を認知しているかをたずねるほうがいいか。

問17 子どもが両親間等の暴力を目撃することは心理的虐待にあたります。心理的虐待、性犯罪、パートナー（配偶者や交際相手など）からの暴力をなくすために、どのようなことを行っていくべきだと思いますか。あてはまると思われるものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 被害者のための相談や救済・支援等を充実させる
2. 家庭・学校における女性と男性及び多様な性の平等や性についての教育を充実させる
3. 市民活動を支援し、暴力に対する世論を高める
4. テレビなどのメディアの倫理規定の強化の働きかけや規制を進める
5. 過激な表現を含むDVD、ゲーム、映画などのソフトの販売や貸出を制限する
6. 法律・制度の制定や見直しを行う
7. 犯罪の取り締まりを強化する
8. 行政や警察が啓発活動を積極的に行う
9. 学校教育における啓発プログラムを行う
10. 加害者を対象とした更生プログラムを充実させる
11. その他 〔具体的に： 〕
12. 特に対応の必要はない
13. わからない

コメントの追加 [p30]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

問18 あなたは、職場（飲み会の席を含む）、学校、社会的活動の場等においてセクシュアル・ハラスメント（*）を受けたり、見聞きしたりした経験がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 自分が直接受けた経験がある
2. セクシュアル・ハラスメントを受けた女性を知っている
3. セクシュアル・ハラスメントを受けた男性を知っている
4. その他 〔具体的に： 〕
5. 受けたこと・見聞きしたことがない

コメントの追加 [p31]: 【必要性要検討】

計画の指標に用いている。

調査結果を施策にどう活かせるか。

* セクシュアル・ハラスメント

- 性的な言動の例・・・性的な事実関係を尋ねること、性的な冗談やからかい、食事やデートへの執拗な誘い、性的な内容のうわさを流布すること、個人的な性的体験談を話すこと 等
- 性的な行動の例・・・性的な関係を強要すること、必要なく身体に接触すること、雑誌等の卑わいな写真・記事等をわざと見せたり読んだりすること、強制わいせつ行為 等

問19 あなたは、職場（飲み会の席を含む）、学校、社会的活動の場等におけるセクシュアル・ハラスメントをなくすために、どのようなことが必要だと思いますか。必要と思われるものを3つまで選び、○をつけてください。

1. 自分が不快だと思うことを相手に対してはっきりと伝えること
2. 「性別・性的指向が異なる人も仕事上の対等なパートナーである」という意識をもつこと
3. 職場でのセクシュアル・ハラスメント防止研修
4. 職場において相談や苦情処理の窓口をつくること
5. 労働組合などが相談に乗る体制をつくること
6. 職場の就業規則にセクシュアル・ハラスメントを禁止する条項を設けること
7. 行政や弁護士等の職場外の相談窓口を充実させること
8. 行政がセクシュアル・ハラスメント防止のための啓発活動を行うこと
9. 学校教育における啓発プログラムを行うこと
10. その他 [具体的に:]
11. わからない

コメントの追加 [p32]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

LGBTなどのセクシュアル・マイノリティを含む、性別に関する考え方についておたずねします。

問20 「LGBT（セクシュアル・マイノリティ）」という言葉を知っていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 「LGBT」 或いは「セクシュアル・マイノリティ」という言葉の意味を知っている
2. 「LGBT」 或いは「セクシュアル・マイノリティ」という言葉を聞いたことがある
3. 「LGBT」 或いは「セクシュアル・マイノリティ」という言葉を聞いたことがない

* LGBT（エル・ジー・ビー・ティー）…レズビアン（Lesbian:同性愛者の女性）、ゲイ（Gay:同性愛者の男性）、バイセクシュアル（Bisexual:女性と男性の両方を好きになる両性愛者）、トランスジェンダー（Transgender:生まれたときの性別とは異なる性を自認する人）の頭文字をとった言葉。

* セクシュアル・マイノリティ…性的少数者のこと。

コメントの追加 [p33]: 【別の設問に統合】

問23に統合。

問21 LGBTなどのセクシュアル・マイノリティの方が日常生活を営む上で、直面している課題と思われるものを、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 学校生活（学校の制服、宿泊行事、トイレ、更衣室、プール）
2. 就労（採用試験、更衣室、トイレ、結婚休暇や介護休暇などの福利厚生制度）
3. 住宅（住宅の入居拒否）
4. 医療（パートナーの手術の同意、安否情報の提供、看護）
5. 民間サービス（家族と同等のサービス提供（家族割引・生命保険の受け取りなど）
6. 死別（葬儀への出席、遺産相続）
7. その他 [具体的に:]
8. 直面している課題はないと思う。

コメントの追加 [p34]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

問22 あなたは今までに自分が性のあり方について悩んだり、周りの人が悩んでいるのを見聞きしたりした経験がありますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

- | |
|---|
| 1. 性自認（*1）について悩んでいる（悩んだことがある） |
| 2. 性的指向（*2）について悩んでいる（悩んだことがある） |
| 3. カミングアウト（*3）を受けて悩んでいる（悩んだことがある） |
| 4. アウティング（*4）をされて悩んでいる（悩んだことがある） |
| 5. 周りの人が性自認、性的指向、カミングアウト、アウティング等について悩んでいる（悩んでいたことがある） |
| 6. そのような経験はない |
| 7. その他 〔具体的に： _____ 〕 |

- *1 性自認…自分の性に対する自己認識（自分が男性又は女性であるか、中間であるか等）
- *2 性的指向…人の恋愛や性的関心がどのような性を対象とするか（異性愛、同性愛、両性愛等）。
- *3 カミングアウト…自らの性のあり方（性自認、性的指向等）を自覚し、それを誰かに開示すること。
- *4 アウティング…本人の性のあり方（性自認、性的指向等）を、同意なく第三者に暴露すること。

国や自治体の取組についておたずねします。

問23 あなたは、次のような法律や市の施策などについて知っていますか。ア～コの項目について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

	内容をよく知っている	概要まで一応知っている	聞いたことはある	全く知らない
ア. 男女共同参画社会基本法	1	2	3	4
イ. 女子差別撤廃条約	1	2	3	4
ウ. 男女雇用機会均等法	1	2	3	4
エ. 育児・介護休業法	1	2	3	4
オ. ストーカー規制法	1	2	3	4
カ. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律	1	2	3	4
キ. 女性活躍推進法	1	2	3	4
ク. 国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例	1	2	3	4
ケ. 国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例	1	2	3	4
コ. 国立市第5次男女平等・男女共同参画推進計画	1	2	3	4

コメントの追加 [p35]: 【修正検討】

セクシュアル・マイノリティ当事者の割合が把握できる設問にしたい。

「身近にはいない」の割合を、次期計画の指標とできるか。

【設問案】

Q. あなたの身近な方にLGBTの方(LGBTであるとあなたが知っている方)はいますか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 家族
2. 親戚
3. 友人・知人
4. 職場の方・近所の方
5. 身近にはいない
6. 自分自身がLGBT当事者である

※LGBTの定義を記載

コメントの追加 [p36]: 【設問修正予定】

他市と国立市との差を比較しやすい用語、次期計画期間で認知度の変化が把握しやすい用語を中心になぞねたい。

【設問案】

Q. 以下の語句の意味や内容を知っていますか。それぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

- ア. SOGI（ソジ）
 - イ. LGBT（セクシュアル・マイノリティ）
 - ウ. アウティング
 - エ. SRHR（セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス/ライツ）
 - オ. 国立市女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する条例
 - カ. 国立市人権を尊重し多様性を認め合う平和なまちづくり基本条例
1. 意味や内容を知っている
 2. 見聞きしたことがあるが、意味や内容は知らない
 3. 見聞きしたことがない

問24 国立市では、女性と男性及び多様な性の平等参画を推進する拠点施設として、JR 国立駅高架下に「くにたち男女平等参画ステーション パラソル」を平成30(2018)年5月に開設しています。あなたは、くにたち男女平等参画ステーションを利用したことがありますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------|--|
| 1. 知っていて、利用したことがある | |
| 2. 知っているが、利用したことはない | |
| 3. 知らない | |
| 4. その他〔具体的に： _____〕 | |

問25 女性と男性及び多様な性の平等参画の推進に向け、今後国立市はどのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。あてはまると思われるものを3つまで選び、○をつけてください。

- | | |
|------------------------------------|------------------------------|
| 1. 学校における女性と男性及び多様な性の平等教育 | 7. 女性と男性及び多様な性の平等参画に関する調査・研究 |
| 2. 広報・啓発活動 | 8. 審議会等の政策決定の場への女性参画推進 |
| 3. 健康・福祉、労働などの相談事業 | 9. 地域活動やボランティア活動の促進 |
| 4. 性別に関係なくすべての人々がともに働きやすい環境づくり | 10. 子育て・高齢者問題等福祉の充実 |
| 5. 起業（新しく事業をはじめること）など女性の多様な働き方への支援 | 11. 東京都や国等との連携 |
| 6. NPO（非営利市民団体）活動の育成・支援 | 12. その他
〔具体的に： _____〕 |
| | 13. 特にない |

問26 国立市が、同性カップルのパートナーシップを証明する制度を導入するとしたら、あなたは賛成ですか反対ですか。あなたのお考えに最も近いもの1つに○をつけてください。

- | | | | |
|-------|---------|---------|-------|
| 1. 賛成 | 2. やや賛成 | 3. やや反対 | 4. 反対 |
|-------|---------|---------|-------|

コメントの追加 [p37]: 【修正検討】

利用の形態を把握したい。

【設問案】

Q. くにたち男女平等参画ステーション・パラソルを知っていますか。また、3年以内に利用したことがありますか。あてはまる番号に1つ○をつけてください。

1. 知っていて、3年以内に利用したことがある
2. 知っているが、3年以内に利用したことはない
3. 知らない

※展示を見たり、情報誌を読んだりすることも利用に含まれます。

Q. 問24で1（くにたち男女平等参画ステーション・パラソルを3年以内に利用したことがある）と回答した方いかがいます。それぞれの利用経験について、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

ア. 講座や交流会に参加した

イ. 相談を利用した

ウ. 情報誌を読んだ

エ. 展示を見た

1. 3回以上ある
2. 1～2回ある
3. ない

コメントの追加 [p38]: 【必要性要検討】

調査結果を施策にどう活かせるか。

コメントの追加 [p39]: 【修正検討】

調査結果が施策に活かされそうな実感を得られる設問を増やしたい。以下の施策以外にも追加したい。

【設問案】

Q. 国立市が以下の施策に取り組むことへのご意見をうかがいます。それぞれについて、あてはまる番号に1つずつ○をつけてください。

ア. パートナーシップ制度に関する取組み

イ. 市立小中学校のトイレ等での生理用品の無料設置

ウ. 公共施設等での生理用品（災害備蓄品等）の無料配布

※各施策の説明を記載

1. 賛成
2. どちらかといえば賛成
3. どちらかといえば反対
4. 反対
5. わからない

あなたのことについてもう少しおたずねします

F 1 あなたの性別は次のどちらですか。あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。[出生時の戸籍・出生届の性別]

1. 女性	2. 男性
-------	-------

*「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことを指します。

F 2 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別（上で○をつけたもの）と同じだととらえていますか。あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。左側で2や3に○をした方は、今の認識についてもお答えください。

1. 出生時の性別と同じ	今の認識にもっとも近い性別（○は1つ）
2. 別の性別だととらえている	
3.違和感がある	

1. 女性
2. 男性
3. その他 [具体的に:]

F 3 次の中で、あなたにもっとも近いと思うもの 1 つに ○ をつけてください。

1. 異性愛者、すなわちレズビアン・ゲイ等ではない [異性のみに性愛感情を抱く人]	4. 無性愛者 [誰に対しても性愛感情を抱かない人]
2. レズビアン・ゲイ・同性愛者 [同性のみに性愛感情を抱く人]	5. 決めたくない・決めていない
3. バイセクシュアル・両性愛者 [男女どちらにも性愛感情を抱く人]	6. 質問の意味がわからない
	7. 答えたくない

F 4 あなたの年代は次のうちどれですか。あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 18～19歳	4. 30～34歳	7. 45～49歳	10. 60～64歳
2. 20～24歳	5. 35～39歳	8. 50～54歳	11. 65～69歳
3. 25～29歳	6. 40～44歳	9. 55～59歳	12. 70歳以上

F 5 あなたは外国にルーツがありますか（外国籍である、父母や祖父母に外国出身の方がいる等）。あてはまる番号 1 つに ○ をつけてください。

1. 外国にルーツがある	2. 外国にルーツはない	3. 答えたくない
--------------	--------------	-----------

コメントの追加 [p40]: 【修正検討】

前回調査では戸籍上の性別に基づきクロス分析を行っているが、性自認によるクロス分析のほうが適切か。「性自認」を知らない人も答えやすい設問としたい。「その他」の表現は適切か。

【設問案】

Q. あなたの性別（※）は次のうちどれですか。もっとも近いもの1つに○をつけてください。

1. 女性
2. 男性
3. どちらにもあてはまらない

※原則として戸籍の性別を指します。戸籍の性別と自認する性別が異なる場合は自認する性別を指します。

コメントの追加 [p41]: 【必要性要検討・別の設問に統合検討】

該当数が少なく、結果を判断しづらい。具体的な割合は他調査を参考することとし、本調査では把握しなくてよい。

問22に統合（LGBT全体の割合）

コメントの追加 [p42]: 【必要性要検討・別の設問に統合検討】

該当数が少なく、結果を判断しづらい（前回調査は同性愛者が約78%）。具体的な割合は他調査を参考することとし、本調査では把握しなくてよい。

問22に統合（LGBT全体の割合）

コメントの追加 [p43]: 【継続予定】

コメントの追加 [p44]: 【必要性要検討】

クロス分析に用いられていない。

該当数が少なく、分析は困難か。

F 6 あなたの家族構成は次のうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 一人暮らし世帯	4. 二世帯世帯（親と子ども世帯が同居）
2. 夫婦のみ世帯（事実婚、同性パートナーを含む）	5. 三世帯世帯（親と子どもと孫が同居）
3. 核家族（親と未婚の子が同居）	6. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕

➡ F6-1、F6-2へ

コメントの追加 [p45]: 【設問修正検討】

パートナーシップ制度の対象となる同性カップルや事実婚世帯の割合を把握したい。

【設問案】

Q. あなたの同居家族について、あてはまるものをすべて選択してください。

1. 同居家族はいない
2. 配偶者（法律婚）がいる
3. 異性のパートナー（事実婚）がいる
4. 同性のパートナーがいる
5. 未成年の子がいる
6. 成人の子がいる
7. 自身、配偶者またはパートナーの親がいる
8. どれにもあてはまらない

※異性・同性は戸籍上の性別を指します。

F 6で2～6と回答した方におたずねします

F 6-1 あなたの家族の中には、同居・非同居にかかわらず、高齢者や病人等の介護を必要としている方がいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自分自身	4. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕
2. 自分の親族	5. いない
3. 配偶者またはパートナーの親族	

コメントの追加 [p46]: 【必要性要検討】

問11（男性の介護への参加）でのクロス分析に用いられている。

F 6で2～6と回答した方におたずねします

F 6-2 あなたの家族の中には、同居・非同居にかかわらず、しょうがいがある方はいますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自分自身	4. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕
2. 自分の親族	5. いない
3. 配偶者またはパートナーの親族	

コメントの追加 [p47]: 【必要性要検討】

問11（男性の介護への参加）でのクロス分析に用いられている。

F 7 あなたは配偶者（事実婚のパートナーを含む）がいますか。現在の状況についてあてはまる番号1つに○をつけてください。法律婚・事実婚は問いません。

1. いる <input type="radio"/>	➡ F7-1へ	2. いない <input type="radio"/>
-----------------------------	---------	------------------------------

コメントの追加 [p48]: 【必要性要検討】

F 7で1と回答した方におたずねします

F 7-1 おふたりの働き方は次のうちどれですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1. 自分又はパートナーだけが働いている	3. どちらも働いていない
2. 共働きである	4. その他〔具体的に： <input type="text"/> 〕

コメントの追加 [p49]: 【必要性要検討】

問6（生活時間）、問7・8（夫婦の役割分担）、問11（男性の介護への参加）、問13（社会的活動）のクロス分析に用いられている。

最後に、女性と男性及び多様な性の平等についてのご意見を自由にお書きください

あなたが日頃、女性と男性及び多様な性の平等について感じていること、困っていること、国立市に希望すること、今後期待するイベントなどをご自由にお書きください。

Blank area for writing responses, consisting of multiple horizontal lines.

コメントの追加 [p54]: 意識調査がどう活かされるか分からない、高齢者に関係ない設問が多いといった意見があった。(報告書172ページ)

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

ご記入後のアンケートは返信用封筒に入れ、8月26日(月)までにご投函ください。

お手数をおかけしますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

(このアンケートや封筒には、お名前やご住所を記入しないでください。)

配偶者間等での暴力についての相談(DV相談)

DV被害者は心身への危害・危険があるだけでなく、無力感やPTSD(心的外傷後ストレス障害)など将来にも影響が起これえます。また、子どもにとってDVを目撃すること自体が心理的虐待に当たり、DVが起これている家庭では子供自身も直接的な暴力を受けている場合が少なくありません。DVでは?と感じたらご相談・ご連絡ください。

●東京都女性相談センター(女性用)

電話:03-5261-3110(午前9時~午後8時/土日・祝日・年末年始を除く毎日)

*緊急の場合は03-5261-3911(夜間・休日のみ)

●東京都女性相談センター多摩支所(女性用)

電話:042-522-4232(午前9時~午後4時/土日・祝日・年末年始を除く毎日)

●東京ウィメンズプラザ(女性用)

電話:03-5467-2455(午前9時~午後9時/年末年始を除く毎日)

●東京ウィメンズプラザ(男性のための悩み相談)

電話:03-3400-5313(午後5時~午後8時/祝日・年末年始を除く月・水曜日)

●警視庁総合相談センター(女性・男性とも)

電話:03-3501-0110(午前8時30分~午後5時15分/土日・祝日・年末年始を除く毎日)

●立川警察署 生活安全課防犯係生活安全相談(女性・男性とも)

電話:042-527-0110(午前8時30分~午後5時15分/常時)*緊急の場合は110番(24時間)

悩みごとは市の相談窓口へ

●ひとり親家庭等の相談

母子・父子自立支援員がひとり親家庭等の相談に応じています。

国立市子ども家庭部 子育て支援課 子育て支援係 電話:042-576-2111(内線168,414)

(午前8時30分~午後5時15分/土日・祝日・年末年始を除く毎日)

●女性相談

女性が抱えている悩みごとの相談に応じています。

国立市政策経営部市長室男女平等・女性支援担当 電話:042-576-2111(内線403)

(午前8時30分~午後5時15分/土日・祝日・年末年始を除く毎日)

●夜間・休日女性相談(電話相談)

市役所の閉庁時に、国立市在住の女性のための電話相談を行っています。

電話:070-2632-1078

(平日午後7時~午後10時)(土日・祝日・年末年始:午後5時~午後10時)*受付は終了15分前まで

●生きかた相談室等(くにたち男女平等参画ステーション)

暮らしの中で抱える様々な問題についてお話を伺い、解決に向けて共に考えます。相談員による日々の相談の他、専門相談員による相談(要予約)も行っています。

電話:042-501-6990(問合せ)、042-501-6996(相談専用)